

51 海外の日本産酒類専門家の招聘

令和2年1月、海外における日本産酒類の理解の向上を通じ、輸出拡大につなげることを目的に、海外市場で影響力や情報発信力のある海外の酒類専門家を招聘し、酒蔵の視察や酒類総合研究所によるレクチャーを実施。

日本酒

- ・ 令和2年1月13日～16日
- ・ WSET※ で日本酒の講師を務める予定の者を招聘（米国、ドイツ、韓国、ベトナム、台湾から7名）。
- ・ 関西及び中国地方の日本酒製造場7蔵を訪問し、製造工程等を視察。
- ・ 蔵元との意見交換会を開催し、料理とのペアリング等を体験（JETRO主催）。
- ・ 酒類総合研究所で、製造技術等に関する講義を実施。



（日本酒製造場視察の様子）



（酒類総合研究所による講義の様子）

焼酎・泡盛

- ・ 令和2年1月20日～23日
- ・ WSET※ でスピリッツの講師を務める者を招聘（英国、カナダ、米国から7名）。
- ・ 沖縄県の泡盛製造場3蔵、九州地方の焼酎製造場6蔵を訪問し、製造工程等を視察。
- ・ 泡盛テイステイングイベントと焼酎カクテルセミナーを開催（JETRO主催）。
- ・ 蔵元との交流会において、焼酎・泡盛のプロモーション方法などについて意見交換。



（泡盛製造場視察の様子）



（焼酎カクテルセミナーの様子）

※ WSET(Wine & Spirit Education Trust) : 英国・ロンドンに本部を置く世界最大のワイン・スピリッツ等に関する教育機関

52 GI 日本酒シンポジウム

令和2年1月12日(日)に大阪国税局、仙台国税局、金沢国税局が合同で「GI日本酒シンポジウム」を開催し、消費者や料飲業者など約300名が参加。

プログラム

- 基調講演 「日本酒の地域性とGI」 竹久 健氏（株式会社津々浦々代表取締役社長）
- パネルディスカッション 「GIの『いま』『未来』～GI その先へ～」
 - ・ パネリスト：三田村 邦彦氏（俳優）、春田 早重氏（2019ミス日本酒）、吉川 亜樹氏（タレント・日本酒学講師）
 - ・ 嘉納 健二氏（灘五郷酒造組合理事長）、仲野 益美氏（山形県酒造組合理事長）、吉田 隆一氏（白山酒造組合理事長）
 - ・ コーディネーター 竹久 健氏

基調講演

- ・ GIの意義、日本酒の地域性、GIの今後等について、基調講演を実施。
- ・ 海外の制度や日本酒とワインの対比を交え説明することで、GI制度への理解の促進を図った。



（基調講演の様子）

パネルディスカッション

- ・ GIのイメージ、取得のねらい、今後の展開等について、パネルディスカッションを実施。
- ・ パネリストが消費者や専門家の立場からディスカッションを行うことにより、GI制度についての問題意識の醸成を図った。



（パネルディスカッションの様子）